

### 【飛ばし読み・勝手読み】

読み困難の背景には、視覚認知・短期記憶・情報処理など様々な要因が考えられます。

その中でも語句を抜かしたり行を飛ばしたりする飛ばし読みの要因を考えてみます。まずは、眼球の動きをうまく調整できず、文字をたどっていくことに困難がある場合。すると読むべき語を飛ばしてしまったり、行末から次の行頭へうまく視線を送れなかったりして飛ばし読みになってしまいます。また、今読むべき所と周囲にある文字が区別できず、読んでいる場所が分からなくなる場合。この場合は読んでいる行と他の行が区別できなくなり、違う行に飛んでしまうこととなります。また注意力不足の場合もあります。この場合はしっかり文字を捉えず読み間違ったり、どこを読んでいるか分からず飛ばし読みをしてしまったりします。

いずれにしても、背景に合わせた支援が必要となってきます。